

文部科学大臣優秀教職員表彰ニュース

令和7年2月発行 京都市教育委員会 教職員人事課

文部科学省では、平成18年度から学校教育において教育実践等に顕著な成果を上げている全国の教職員を表彰し、意欲及び資質能力の向上に資することを目的に「優秀教職員表彰」が行われており、第19回目となる今年度は全国から829名、59団体の優秀な教職員が表彰され、本市からは、7名（小3名・中2名・高1名・養護教諭1名）及び1団体が受賞しました。表彰式典は、令和7年1月17日（金）に東京大学の安田講堂で行われました。全国の受賞者が一堂に会され、参加した受賞者の皆様は、今後の教育実践等への意欲をさらに高められました。

受賞者の皆様



上鳥羽小学校
本城 脩平 教諭



向島秀蓮小中学校
景山 功一 教諭



宇多野小学校
橋本 庸平 教諭



栗陵中学校
金沢 宏能 教諭



下京中学校
藤本 裕之 教諭



堀川高等学校
岡本 弘嗣 主幹教諭



栗陵中学校
渡邊 創子 養護教諭



向島東中学校 学校改革「夢現プロジェクト」チーム



「文部科学大臣優秀教職員表彰」の御受賞、誠にありがとうございます。受賞されました7名と1団体の皆様が、「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という京都市の教育理念のもと、全国をリードする本市教育の充実に御尽力いただいておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。

社会構造が大きく変化し、教育課題が多様化・困難化するこれからの時代においても、ますます御活躍され、本市の子どもたちのために、それぞれの分野で弛まぬ努力と優れた教育実践を積み重ねながら、御自身の輝きを京都市全体に広められることを御期待申し上げます。

受賞者の皆様をはじめ、全ての教職員の皆様におかれましても、子どもたちが、互いの多様な価値観を認め、協働しながら、これからの未来社会を生き抜くことができるように、一層、本市教育の充実に御尽力いただきますようお願い申し上げます。

京都市教育長 稲田 新吾